

# 東日本大震災と HIV 陽性者

**入場無料**

2012年8月5日(日) 13:00~15:00

仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

どなたでも入場できます

## 講演「東日本大震災時の HIV 外来の状況と対応について」

塚本琢也氏 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント  
 仙台医療センター HIV カウンセラー、臨床心理士

阿部憲介氏 仙台医療センター薬剤師

## パネルディスカッション「東日本大震災時の全国の動き」

佐藤郁夫氏 ふれいす東京 /JaNP+

たけし氏 nankr 代表

やまだまさこ氏 東北 HIV コミュニケーションズ事務局長

厚生労働省エイズ動向委員会の発表によると、2011年3月27日までの宮城、岩手、福島HIV感染者/AIDS患者の累積報告件数は、3県合計で279件。すなわち、東日本大震災発生時、被災3県には300名近くのHIV陽性者がいたことになり、その中には避難生活を余儀なくされた方々もいました。HIV陽性者の中には、病状により、抗ウイルス薬を毎日決まった時間に飲まなければならない人もいます。毎日薬を飲む必要がある方々にとって、震災はどのように影響したのでしょうか？独立行政法人国立病院機構仙台医療センターの患者の方々の協力で行われたアンケート結果をもとに、大規模災害の発生時、医療関係者・患者本人・家族・社会ができることはどんなことか、普段からどのような備えが必要なのかを考えます。

会場：仙台市市民活動サポートセンター  
 6F セミナーホール  
 仙台市青葉区一番町4丁目1-3  
 地下鉄「広瀬通駅」西5出口すぐ



### パソコン要約筆記の字幕付き！

パソコン要約筆記の字幕がつきます。文字で見えるから耳の不自由な人もそうじゃない人にも便利です。

協力：特定非営利活動法人パソコン要約筆記文字の都仙台

主催：公益財団法人エイズ予防財団 厚生労働省委託事業「同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業」

協力：Living Together 計画、東北 HIV コミュニケーションズ、やろっこ 他

お問合せ：community center ZEL TEL/FAX 022(261)6556 sendai865@yahoo.co.jp